

臨床研究に関する情報公開

「当科における偶発胆嚢癌の検討」へのご協力をお願い

当院の研究責任者

外科 田端正己

他の研究機関および各施設の研究責任者

なし

研究の対象

2005年1月～松阪中央総合病院で胆嚢結石症等の良性胆嚢疾患の診断で胆嚢摘出術が行われ、術後の病理組織学的検索で胆嚢癌が発見された方

研究目的・方法

最近の画像診断の進歩に伴い、進行胆嚢癌の質的診断および進展度診断は比較的正確に行われるようになってきました。一方、胆嚢結石症等の良性胆嚢疾患の診断のもとに腹腔鏡下あるいは開腹胆嚢摘出術が行われ、その後の病理組織学的検索で初めて胆嚢癌と診断される、いわゆる偶発胆嚢癌も0.3～1.0%の割合で存在します。このうち、粘膜内に癌がとどまるものでは二期的追加切除は必要ありませんが、固有筋層浸潤例に対する追加切除の是非については未だコンセンサスは得られていません。また癌浸潤が漿膜下層におよぶ症例では二期的切除が必要なことに異論ありませんが、術式や手術時期については十分な検討はなされていません。そこで当科で経験した偶発胆嚢癌の治療成績を検討し、偶発胆嚢癌に対するストラテジーを明らかにするのが本研究の目的です。

研究に用いる試料・情報の種類

検査所見やカルテ記載、病理組織所見等の診療情報

外部への試料・情報の提供

ありません

個人情報の取扱い

研究に使用する情報から個人を特定できるものは削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。

研究資金源・利益相反

ありません

お問い合わせ先

0598-21-5252 田端正己